

# 分析結果報告書〔3〕 1 / 2

## 1.3 水質試料1(砒素)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガイド25) 4. M L A P 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	( )年
分析主担当者の実績(年間の分析試料数)	( )

回数	分析結果(mg/l) 注1)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
	検出下限値以上 注2)	
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. 水素化物発生原子吸光法 2. 水素化物発生ICP発光分光分析法 3. その他( )
使用した水	1. 蒸留水 2. 1+1交換水 3. 超純水 4. その他( )

### <前処理(試験溶液の調製)>

試料量	( )ml
前処理に用いた酸の量 硝酸	( )ml
硫酸(1+1)	( )ml
注4) 過マングン酸カリ溶液(3 g/l)	( )ml
過塩素酸	( )ml
塩酸	( )ml
前処理後の定容量(試験溶液量) 注5)	( )ml

注4) 使用しなかった場合には、「0(ゼロ)」とする。

注5) 定容としなかった場合には、記入しない。

## 分析結果報告書〔3〕 2/2

〈水素化物発生原子吸光法及び水素化物発生ICP発光分光分析法〉

試験溶液の分取量	注1)	( )ml
予備還元等に用いた試薬 よう化カリウム (酸を除く)	塩化すず(II) 鉄( ) 臭化カリウム アスコルビン酸 その他の試薬	1. 使用する 2. 使用しない 1. 使用する 2. 使用しない 1. 使用する 2. 使用しない 1. 使用する 2. 使用しない ( )
予備還元後の溶液(定容量)	注1)	( )ml
予備還元後の溶液の液性 塩酸濃度 (概略濃度)	硫酸濃度	( )mol/l ( )mol/l
還元剤		1. 亜鉛粉末 2. テトメドロホウ酸カリウム(水素化ホウ素カリウム) 3. その他( )
導入方法		1. 連続式 2. 貯圧式 3. その他( )
原子吸光分析装置 バッカウド補正	測定波長	1. 行わない 2. 重水素ランプ 3. 偏光セマン 4. その他( ) ( )nm
ICP発光分光分析装置 装置の型式	バッカウド補正 超音波ゼーライザーの使用	1. 波長走査(シーケンシャル) 2. 波長固定(マルチ) 3. その他( ) 1. 行う 2. 行わない 1. 使用しない 2. 使用する ( )秒 ( )nm

注1) 分取しなかった又は定容としなかった場合には、記入しない。

〈検量線の作成等〉

定量方法 方法 内標準法: 内標準物質の種類	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 1. イットリウム 2. インジウム 3. タリウム 4. ピスマス 5. その他( )
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	( ) 最小( ) ~ 最大( ) 注2) ( )
試料の指示値	( )
空試験の指示値	( )
検出下限値	( ) mg/l 注3)

注2) 分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/l)を示す。

注3) 試料中の濃度(mg/l)を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--